

自己点検・評価について

① 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	プログラムの履修・取得状況(科目毎の履修者数、履修率など)については学務課が管理し、分析を実施している。適切な履修やコース選択が実施されるように、希望者や不適切な履修希望を出した学生に対しては学務課と教員が協力して面接を実施し、履修やコース選択のアドバイスをを行っている。本プログラムはAI・データサイエンスコースと関連して設置されており、コース選択の指導の中で、履修の推薦や適切な科目選択の指導を実施している。
学修成果	学生の成績は、Webベースのシステムにて管理されており、学務課がそのデータの活用や教員との共有を実施している。数理・データサイエンスセンターはこのデータを参照することによって、本教育プログラムの効果を確認する。また、現在は開学3年目であり卒業生がいないが、卒業生が出たら、卒業生調査の結果を用いて、就職後における本教育プログラムの評価を実施していく予定である。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	全科目について、学生アンケートを実施しており、学生の理解度や学習時間など様々な情報を把握している。担当教員はこのアンケート結果や学生から要望などに対して、回答し公開することが義務付けられており、本教育プログラムの科目についても、担当教員が、理解度の状況からフィードバックを確実にを行う体制がとられている。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	学生アンケート結果は、担当教員の回答とともに公開される。その結果を参考に他の学生は、科目の推奨度を判断することができる体制となっている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	様式4に記載の計画により、履修者数・履修率向上を推進している。多くは必修科目であるが、一部選択科目があるために、この選択科目の履修率を高めるための活動を実施していく。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	* 2年・3年で実施される長期の企業実習である。臨地実務実習では、受け入れ企業によるアンケートを実施している。ここで、学生の能力について回答する項目があり、その評価によって企業からの評価が可能となっている * 本学は開学して2年しかたっていないために、まだ卒業生がでていないが、卒業生が出た場合に卒業生調査を予定している。ここで、状況を把握する予定である。

<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>* 本学は、産業界及び地域社会との連携により、授業科目の開発や教育課程の編成、及び円滑かつ効果的な実施と不断の見直しを行うため、学部別に教育課程連携協議会を設けている。教育課程連携協議会には産業界・地方公共団体などのメンバーから構成されており、教育課程の編成や教育課程の実施評価などに対して、大学側に意見を述べる役割を担っている。教育課程連携協議会との意見を反映しプログラムの改善を実施していく。</p> <p>* 本学は専門職大学ということで、実務家教員が多く採用されている。企業でのAI・データサイエンス技術を活用していた経験を持つ実務家教員もいるため、そのような教員の意見を反映することで産業界からの視点を含めることができると考えている。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>* リメディアル数学教材の活用: 数学の苦手な学生の苦手意識を取り除くことが重要であり、苦手な学生はリメディアル数学教材を活用した補習などを実施し、学ぶ楽しさを阻害しないようにしている。</p> <p>* 学習支援室・数理データサイエンスセンターによるフォロー: 本学の学習支援室では、専門学校を含む様々な教育機関で多様な学生を指導した経験のある指導員が、学生一人一人の質問に対して丁寧にフォローする体制が確立されている。また、本学はデータサイエンティストを目指す学生も多く、数理・データサイエンスセンターは資格取得などのアドバイスを実施していく。</p> <p>* アンケートのフィードバック: 授業の学生アンケートでは、満足度などの指標も調査しており、学生の意見をフィードバックし、楽しさを増すようにしている。</p> <p>* AI・データサイエンスコースの設置: 本学では、このプログラムと関連づけられているAI・データサイエンスコースを設置しており、学生向けガイドブックや学生面談などで入学時から、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を感じられるように意識づけしている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>* アンケートのフィードバック: 学生アンケートでは理解度などの指標も調査しており、それらの学生の意見をフィードバックしわかりやすさを改善している。</p> <p>* 演習・実習サポート: 演習科目・実習科目では、学習支援室の支援員をサポートとして配置し、適宜学生の助言を行うことで、学生のわかりやすさを向上している。</p> <p>* 補習の実施: 微分積分などの複雑な計算については、そのマスター用の計算補習を実施するなど、適宜補習を開催することで、分かりやすさを向上している。</p>

②自己点検・評価体制における意見等を公表しているアドレス

<https://kaishi-pu.ac.jp/department/ict/dsc/>